

地域の魅力を掘り起こそう！

～登別白老広域ツアーガイド養成研修～

8月26日(木)、しんた21で、地場産業や景観、温泉などの地域の資源を生かすとともに、潜在する地域資源を掘り起こし、観光関連産業と連携を図りながら、地域の魅力を引き出すガイドを養成する『登別白老広域ツアーガイド養成研修』がスタートしました。

この事業は、市、白老町、登別商工会議所などで構成する登別市・白老町広域雇用創出クラスター担い手育成事業推進協議会が厚生労働省の委託を受け、新たな雇用の創出と観光の分野を担う人材を育成する『登別市・白老町広域雇用創出クラスター担い手育成事業』の一環で行われるもので、講座は全10回。

この日は、登別市と白老町から26人が参加して行われ、講師から研修の趣旨、スケジュールなどのガイダンスのほか、登別と白老に潜在する魅力や新たな可能性をもつ資源を地図にする『地域資源マップ』の作成方法などが説明され、参加者は地域の魅力を掘り起こそうと、熱心に耳を傾けていました。



すてきな体験と感動を胸に帰国 ～平成16年度登別市中学生海外派遣～



8月26日(木)、デンマークへの派遣を終えて帰国した中学生など派遣団が、市役所を訪れ、上野市長に帰国報告をしました。

デンマークへの中学生海外派遣事業は、登別マリパークニクスのニクス城がデンマークのイーエスコー城をモデルとして建設されたことを契機に、リング市との交流が生まれスタート。13回目となる今年、市内の各中学校から選考された5人と引率の教諭など合わせて8人が、8月8日から17日までの10日間、リング市内の家庭にホームステイし、リング・フリー校の生徒との交流やイーエスコー城、レゴランドなどの見学を楽しみながら、見聞を広げました。

帰国報告では、中学生が一人ずつ、日本との文化・習慣の違いやデンマークの子どもたちとの温かな交流などを上野市長に報告しました。

新鮮で格安な海の幸が盛りだくさん ～第27回登別漁港まつり～

9月11日(土)と12日(日)の2日間、登別漁港で『第27回登別漁港まつり』(同実行委員会主催)が行われ、新鮮な海の幸を求め大勢の市民でにぎわいました。

海産物即売コーナーでは、親子連れなど新鮮で格安のホッキやエビ、カニ、ホタテ、ウニなどを次々と買い求め、朝揚げサケ抽選即売には捕れたての600匹を引き当てようと長蛇の列ができました。

このほか、JAくりやま農産物即売会や花火大会、ビンゴゲーム、よさこいソーラン、和太鼓演奏、バトントワリングといった多彩なアトラクションも繰り広げられ、来場者を楽しませていました。

